

**特別活動****「福祉実践教室 手話学習」****横浜市立市場中学校****単元目標**

- 人間一人ひとりが、かけがえのない存在であることを理解し、学級の活動に生かす。
- 様々な障害について理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。

**(1) 実施時期**

10月下旬

**(2) 対象（学年等・人数）**

2学年 209名

**(3) 指導者（教諭・外部講師等）**

本校教諭：2年所属 11名

外部講師：鶴見区ボランティア ワルツ 18名  
地域ケアプラザ職員数名**(4) 実施内容**

## 福祉実践①

講演会：「聴覚障がいについて」（学年全体）

- ・聴覚障害の方の実生活について、4名の方から話を聞く。（手話通訳あり）

## 福祉実践②

手話体験：各学級で手話実践

- ・各学級に講師1名（聴覚障がいの方）、ボランティア2名（ワルツの方）
- ・簡単な会話（あいさつ、自分の名前等）の実践

**(5) 成果**

- ・手話に興味を持ち、学習後も自分の名前を手話で伝えられるようになった。
- ・障害のある方に対して、街なかでの声かけやあいさつができるようになった。